



早いもので 2 月も中旬が過ぎました。現在 1 月 21 日より始まった分散登校継続中で、対面とリモート授業が続いています。例年とは大きく違った状況ですが、みなさんの学習状況はいかがですか？

担任の先生方もこの状況に不安を感じながらも、毎日みなさんの状況を見守っておられます。今回の米工メーカーズでは、各クラス担任の先生方に学年末考査や来年度に向けての激励メッセージをいただきました。どの担任の先生方も皆さんの健闘を期待しておられます。来年は 3 年生となります。就職や進学に向けた 2 年最後の成績となるので、計画的にテスト勉強をして後悔しないようにしましょう。

頑張れ 2 年生！ラストスパート!!

機械科 いよいよ 2 年生最後の定期考査です。自分の進路決定にも重要な試験になります。三学期は分散登校で思うように学校で勉強ができていないかもしれませんが、精一杯頑張ってください。 M2 担任 西原

電気科 三段跳びのホップ・ステップ・ジャンプで言えば、2 年生はステップです。3 年生でジャンプ出来るように、悔いの無いように勉強しましょう。そして、将来社会のなかで自分の役割を果たしながら、自分らしく生きるために道を切り開きましょう。自らの意志と責任で進路を選択することが大切です。 E 2 担任 石川

情報電子科 分散登校になってから、リズムのつかみづらい生活が続いていますね。2 年生最後のテストです。しっかりと目を覚ましましょう。今勉強する時です。今やらないと 3 年生になってから後悔するよ。 W 2 担任 建井



環境エネルギー科 いよいよ、2 年生最後の考査となりました。日々、皆さんには伝えていますが、進路実現のために非常に重要なテストとなります。米工を卒業するとき、笑顔で卒業できるように。。。今、出来ることを全力で取り組んでください！頑張れ！ C2 担任 川口

建設科 2 年生最後のテストが始まります。半年後に迫った進路決定にも影響する大切なテストです。

体調を整えて、悔いのないように準備してください。

K 2 担任 山道



冬の北京2022オリンピックが終わりました。どの世界でも、目標に向かって一生懸命取り組む姿は美しく、見ている人々を感動させます。

人がやっていることなら君もできる！

テレビのスイッチを入れると、スピードスケート女子1000メートルで金メダルを獲得した高木美帆選手が、ヨハンコーチの言葉で強くなったという話が紹介されていました。

ヨハンコーチのアドバイスは「同じ人間ができていいる事だから、自分もできる」というものでした。

そうは言っても現実にはできないことがたくさんありますよね。運動能力、理解力、洞察力。ご先祖様からの遺伝なのか、物心が付くまでの環境による結果なのか、定かなことはわかりませんが、「明らかに比べる土台が違う」と言いたくなることはあるものです。

BEIJING 2022



私も子供の頃から、上手くいかないことや頑張らないといけないことが待っているときは、「みんなもやっているのだからなんとかなるだろう」と思うようにしていました。現実には、うまくいかないこともありました。が、「できないかもしれない」とマイナスに考えて自分で自分を不安にさせても辛くなるだけだと考えました。今にして思えば、やり方や時間のかけ方に工夫をしていれば、もっと目標達成に近づいていたのではないかと思います。

どの世界でも、一流の人たちはそこへ向かう真剣さや貪欲さが違います。そしてそのための取組は決して楽なものではありません。その辛い状況にも負けずに頑張っていけるのは、その人を支えている物事のとらえ方、考え方です。同じものを見ても、同じことを体験しても、とらえ方が違えば行動が変わります。そうすれば当然結果も違います。

ヨハンコーチの言う「他の人ができているのだから、君もできるよ」という言葉は、無責任な励ましのように聞こえるかもしれませんが、その意識を持つことはとても大切だと思います。それぞれの世界のトップの人たちは、そのとき頂点にある記録は自分にも到達できると信じて挑戦し、その結果、記録に追いつき、さらには新記録を塗り替えていくのです。



みなさんは自分の目標をあきらめてはいませんか。他の人ができていることはあなたにもきっとできます。やり方とそこにかかる時間を見直してみましよう。

そして、次はまだ誰もやったことのない世界に挑戦してください。



まもなく3年生は卒業を迎えます。どんな学年だったのか振り返ってみたいと思います。

今年の卒業生

3年前、高い志願倍率の入学選抜を通して、定員より多い192名で入学してきました。今年の3月1日には191名が卒業しますが、この人数は少なくともこの10年で最大です。目的意識を高く持って入学し、様々な困難にも挫折することが少なかったことがうかがえます。

1学年の終わりに、誰も予期しなかった新型コロナウイルスの感染拡大が始まりました。3月の初めには突然の休校を余儀なくされ、十分な授業ができぬまま、終業式を迎えました。全校集会はできず、生徒は教室にいて画面を見る形式になりました。これ以降、始業式、終業式、壮行会等の全校集会はリモートで行うことになり、今も続いています。

2学年での県外企業研修旅行は、コロナにより当初予定の9月は実施できず、翌年7月に延期しましたが結局中止となりました。今年の1月末に代替旅行として日帰り旅行を計画しましたが、またもや予期せぬ感染急拡大で、断念せざるを得ませんでした。

2学年時の県総体は中止になり、悔しい思いをした先輩を見てきました。資格試験も中止や延期が相次ぎ、研鑽した能力を発揮できる場をことごとく奪われた年でした。目標を急に奪われた時のむなしさ、そこからの切り替えを体験できたのではないかと思います。

3学年の県総体は、大会直前に感染拡大により部活動停止、競技ごとに延期して実施になりました。しかし、モチベーションを下げる事無く、全国大会への切符を手にする生徒がいました。学校祭文化の部は学年ごとに体育館に集合しステージ発表を実施し、他学年は教室でリモート観覧となりました。準備期間が短いにもかかわらず、どのクラスもまとまった演技で観客を楽しませていました。

就職試験は例年通り9月16日から開始され、心配していた求人数も例年並みでした。複数の先生に面接練習を申し込む姿が見られました。結果、一次応募の内定率は89%と高いものでした。進学試験もほとんどの生徒が第一志望に合格し、国公立大学にも5名が合格しました。

下表は、年度ごとに卒業生が表彰を受けた数をまとめたもので、ジュニアマイスターと鳥取県立高校職業教育技術顕彰は、取得資格に応じて表彰されるものです。この表から分かるように、4つの項目で本校の新記録を出しています。コロナに翻弄されつつも、自分のすべきことを着実に行った成果だと思います。卒業生は、予期せぬことは起こり、これまでの生活が変わりうるということを、自分の人生を決める重要なタイミングで経験しました。この経験が、変化が加速する社会に適応していける能力の礎になることを願っています。

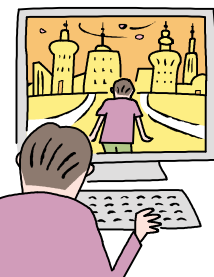
卒業年度	令和3年	令和2年	令和元年	平成30年	平成29年	平成28年	平成27年	平成26年	平成25年	平成24年
卒業生数	191	182	188	185	181	188	167	182	166	183
ジュニアマイスター特別表彰	2	0	2	0	0	3	2	4	3	0
ジュニアマイスターゴールド	12	8	5	3	5	7	5	7	6	2
ジュニアマイスターシルバー	19	9	8	19	7	6	7	12	8	12
ジュニアマイスターブロンズ	33	22	28	21	—	—	—	—	—	—
鳥取県立高校職業教育技術顕彰	58	48	48	48	32	26	20	22	26	17
3年間皆勤賞	33	24	19	44	24	18	21	27	18	19



平成29年に開催された全国高等学校 PTA 連合会大会静岡大会で、高校生代表として参加していた生徒が、YouTubeが次から次へと興味のあるコンテンツを提示してきてやめられないという発表しました。

偏った情報シャワーに気づこう！

この生徒の嘆きの声は今でも忘れられません。「ネットトラブルの予防と対策」がテーマでした。YouTubeで一度動画を見てしまうと、次から次へと関連する動画のリストが表示されて見たくなくなってしまい、YouTube が動画を見ることをやめさせてくれないと、やめることのできない自分に彼は悩んでいました。



私も、YouTubeで調べ事をするとき次から次へと関連する動画を提示してくるので、確かにしつつ見えてしまいます。みなさんはどうですか？

YouTubeは視聴者の好みに合う動画を次々に提示してきますが、通販サイトでもこちらの検索したデータや購入したデータを元にこちらの関心に合う商品を紹介してきます。また、Googleなどで検索した結果も、独自のルールで表示されますので、そのルールを知っている人は、自分のサイトが検索結果の上位になるよう対策を取ります。

このような仕組みは、ある面、知りたいことに関連する情報を得られるのでありがたいようにも思えますが、実は見たい情報だけを見て、真偽の確かではないコントロールされた情報をすべて信じるような、情報の偏りが生じてしまい、多様な価値観が見えなくなってしまいます。

みなさんもwikipediaで情報を調べることが良くあると思います。しかし、wikipediaは誰でも書き換えることができるので、そこで知り得た情報が真実かどうかは定かではありません。

ゴシップなど人が興味本位で検索したくなる話題のサイトについては、見る人が増えるほどに検索結果の上位に表示されるため、誤った情報が広まりやすくなります。そのため、みなさんのためにと誤った情報を善意ある人がフェイクニュースとして流してしまうことがあります。それは時として人権を傷つけることもあります。

日常生活に浸透するネットの活用は今後も広がっていくでしょう。今まで以上に情報を提供する側も情報を利用する側もモラルと知識を持つことが必要です。

ネットはとても便利です。しかし、使い方を間違えると刃物や自動車のように凶器にもなります。ルールで守られるのではなく、マナーとして対応する主体的な使い方を心がけたいですね。



4月には、3年生は民法の改正により成人として社会へのスタートを切ります。入学生は個々でChromebookを購入して入学してきます。Society5.0の社会をめざし、ネット社会を生き抜く智慧としてください。



パソコン同好会

パソコン同好会は情報電子科の生徒を主体に、情報電子科21名、機械科2名、電気科2名、環境エネルギー科2名、建設科2名の部員で活動しています。

情報電子科では情報技術分野と電子制御分野の勉強をします。今後成長が見込まれる IT、AI、DX の情報技術分野もロボットや自動運転などのマイコン制御、電子回路、半導体設計等の電子制御分野もプログラミング技術は必要になります。パソコン同好会は、授業で勉強する C 言語等の言語を用いてゲームなどのプログラムを自由に創造することを目的としています。

また、生徒が勉強したプログラミング技術を応用して、鳥取県小中高生プログラミングコンテストに作品を応募しています。コンテストは1次審査、2次審査、最終審査があり、プログラムの説明や作品のプレゼンテーションを行います。本年度はオンラインで開催され、3年生のパソコン同好会の生徒と情報電子科の生徒が協会会長賞と優秀賞を受賞しました。



令和3年度 プログラミングコンテスト



令和3年度 優秀賞 協会会長賞



令和2年度

協会会長賞

審査員特別賞

優秀賞



令和元年度

審査員特別賞



コンテスト応募作品

世界状況や労働環境が大きく変化しています。今後もオンライン勤務やジョブ型の企業などのように働き方も変化し、専門的なスキルやプロフェッショナルが求められる時代になると考えられます。専門技術や IT、語学等のスキルを習得するために、各科の専門の授業や英語、数学等の教科の授業を大切に取り組んでください。学校で学んだことを進学先の大学や専門学校、就職した企業等で応用し活躍することを期待しています。

顧問 妹尾 優一